

# 調査研究活動実績

氏名 田中 徹

本年度（令和5年度）の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。なお、本年度は監査委員としての任務もあり、先進地視察等の調査研究が例年に比べ十分に行えなかったことを申し添えます。

## 1. 新型コロナウイルス感染症や原油高、物価高騰による影響について

5月には、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行する中、感染症の予防と社会経済活動の両立を図るため、県内外の様々な業界の方々と現下の状況について聞き取り調査を行うとともに、原油高や物価高騰の長期化による県民生活や暮らしへの影響について適宜意見交換を行いました。

## 2. 本県課題の克服に向けた活動について

国会議員とともに鉄道コンサル会社を訪問し、今後の公共交通の在り方について意見交換を行いました。また、「チルドレンファーストのこども行政の在り方勉強会」に参加するなど、少子化対策について地方議員とともに意見交換を行いました。加えて、南海トラフ地震に備えるため、南国市消防団とともに宮城県岩沼市を訪問し、災害発生時の初動対応等について意見交換を行いました。

## 3. その他の政務調査項目について

- ・ 地方創生に関する県内外の取り組み
- ・ 中山間対策（集落活動センター、買い物・交通弱者対策など）
- ・ 農業振興（水稻、施設園芸、酪農など）
- ・ 観光振興（インバウンド観光、「らんまん」放送による影響など）
- ・ 土木（道路、河川、砂防、都市計画など）
- ・ 公共交通（土佐くろしお鉄道、とさでん交通、バス・タクシーなど）
- ・ 医療、福祉、介護（新型コロナウイルス感染症対策、人材確保など）
- ・ 放課後児童対策（放課後子ども教室、放課後学習支援など）

以上